

## 医療ニーズ;用件が分かるナースコール



医療ニーズ提案部門  
滋賀医科大学 附属病院 看護部



### 「ベッドまで行かずに患者さんの要件を知りたい」

■看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>

#### ■ニーズの背景

- 従来のシステムでは、ナースコール時に分かるのは患者の名前・所在のみで、状況の把握・対応について、患者さんの所に行くまで用件が分からなかった。
- 呼び出された時点で、大まかな用件が把握できるならば、患者はより迅速かつ適切な対応を期待できると同時に、医療者の側では事態に余裕をもって対応することが可能となる。

#### ■現在の対応方法

- 呼出し後に現場に駆け付けてから状況確認し、必要な対応を開始することになり、時間的なロスが多い。

#### ■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- 1日に何十回と呼び出されるのが現状であり、各患者の要望もまちまちであることから、ニーズは高い。
- 多機能ナースコールも存在するが、現場感覚では不十分である。

#### 【イメージ・参考例】用件がわかる機能



#### 機能アイデア例

- 用件が予め設定されている機能
- 患者が他の患者に聞かれて恥ずかしい内容が漏れずに看護師に伝わる機能

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: [hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp)